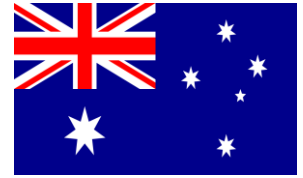


Southern Cross



The Japanese School in Perth
パース日本人学校



2021 No. 6

8月27日発行

Web-site www.japaneseschool.wa.edu.au

e-mail: toiawase@jsp.wa.edu.au

「M a g i c w o r d」 (マジックワード)

パース日本人学校 校長 中丸 俊晴

日本にいる時、英語教育第一人者の阿部フォード恵子先生より、次のような話を聞きました。
アメリカでの教室の一コマです。

児童「先生、定規忘れました。定規貸して？」

先生「定規？定規貸して？マジックワードを忘れてない？」

児童「A ruler , please」

先生「はい、定規です。どうぞ」

児童「・・・・・・・・」

先生「また、マジックワード忘れてませんか？」

児童「Thank you」

引用が長くなりましたが、このPlease、Thank youの二つをマジックワードといいます。アメリカでは、学校でも家庭でもこの二つの言葉が無いときは、何回も言い直しをさせ、徹底して使えるようにしているそうです。逆にこの言葉が無いときは、無視をするそうです。

人に何かをお願いする時 Please 人が何かをしてくれた時 Thank you

英語教育の中に、何か大切なもの（人としての道）を教えていただきました。

さて、マジックワードとは、少し話はそれますが、パース日本人学校の子供たちのとても素晴らしい面を二つ発見しました。

一つ目 あいさつの場面で

委員会活動の一環として、朝の挨拶当番をしていますが

4年生の男の子が、「〇〇さん、おはよう」「〇〇君おはよう」と、

呼名の挨拶をしていました。とても、素晴らしいです。直に名前を呼ばれると必ず挨拶をかえすものです。

二つ目 雨の日の朝の場面で

2年生の男の子が、濡れたかさをていねいにたたんで、さんにかけていました。たたむことで、たくさんのかさをかけることができ、他のかさとぶつかりません。ちょっとしたしぐさですが、思いやりのある行動です。

いよいよ来週の水曜日、金曜日には、アスレチックカーニバルがあります。今まで踊りや各種目の練習に一生懸命頑張ってきました。当日すべての力が発揮できるよう、皆様のご声援をお願い致します。